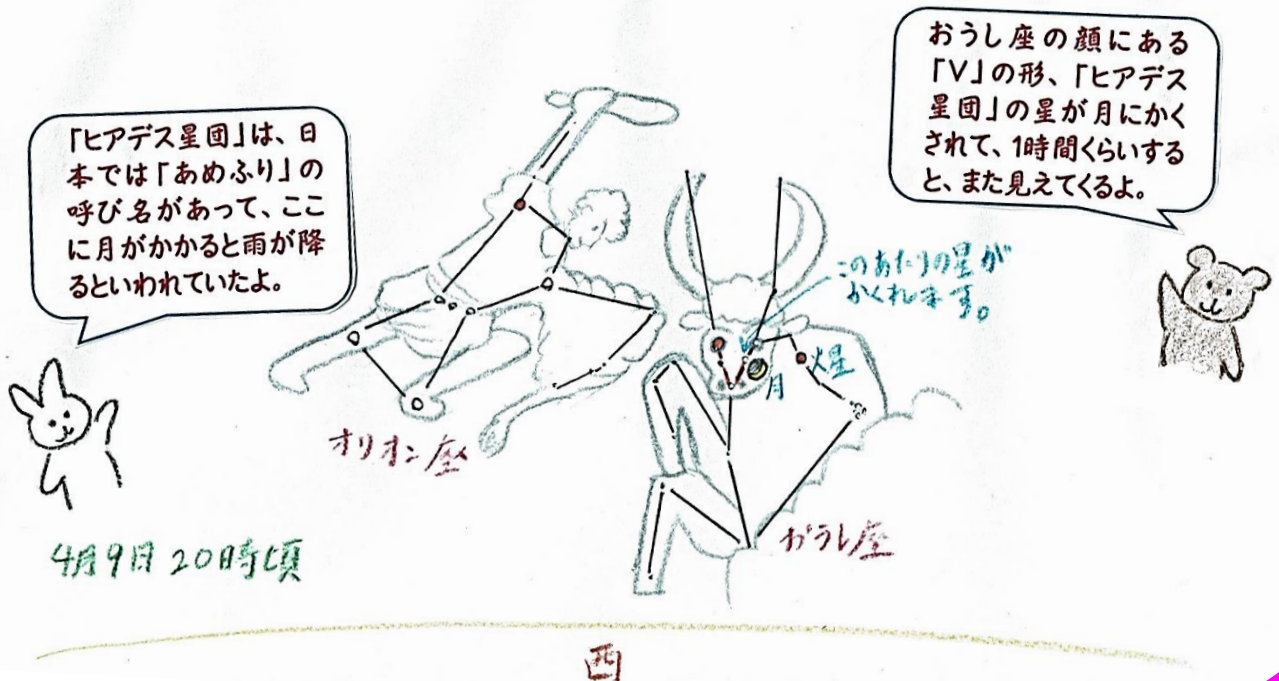
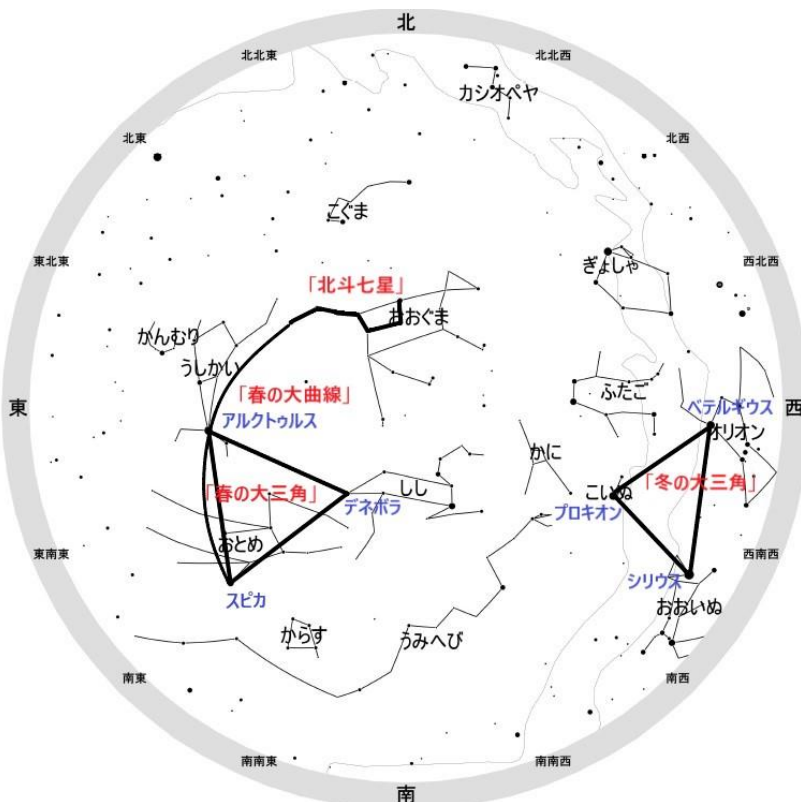


あめふりに月がかかると・・・「ヒアデス星団食」を見よう！



4月15日 21時ごろの空



4月です。新生活の始まりの季節、期待や不安にちょっと落ち着かない日も増えてしまいそうですね。

夜空でも、冬の星座と春の星座が一緒に見えていて、ちょっと中途半端な気持ちになってしまうかも？でも、毎日少しずつ星は動いていき、だんだんと春らしい空になってきます。

冬の夜空を華やかに飾ったオリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンの「冬の大三角」は、西の空に低くなってきました。

かわって、おおぐま座の背中からしっぽの星たち、「北斗七星」から線を延ばしてうしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカ、とたどると「春の大曲線」がよく見えるようになってきました。アルクトゥルス、スピカと、しし座のデネボラを結ぶと、「春の大三角」も見えています。

少しずつ変わっていく星空は、急に変わらなくてもいいんだよ、って優しく見守ってくれてる気がしますね。